

朝 日 賞

受賞の人びと

2024年度

朝日新聞文化財団

朝 日 賞

学術、芸術などの分野で傑出した業績をあげ、わが国の文化、社会の発展、向上に多大の貢献をされた個人または団体に贈ります。

1929 年（昭和 4 年）に朝日新聞創刊 50 周年記念事業として創設しました。一時、文化、福祉、体育の 3 部門に分かれていましたが 1975 年度に朝日賞を総合賞とし、福祉、体育はそれぞれ独立した賞になりました。受賞者のなかから後年、ノーベル賞や文化勲章を受けられた方も多く出ています。1992 年に財団法人朝日新聞文化財団（現公益財団法人朝日新聞文化財団）が授賞事業を引き継ぎました。全国の大学、研究機関、有識者らに候補推薦を依頼し、朝日新聞文化財団朝日賞選考委員会で受賞者を選考します。毎回翌年 1 月に贈呈式を行い（2020 年度は新型コロナの影響で中止）、正賞と副賞を贈ります。第 1 回以来の受賞者は合わせて 496 人と 28 団体になります。

「朝日賞特別賞」は、朝日賞本賞以外の分野において、長年にわたり国際的または社会的貢献が著しく、傑出した業績をあげた個人・団体を対象に朝日新聞社内で選考しました。1995 年度に「朝日賞スポーツ特別賞〈青木半治氏〉」、1999 年度に「朝日賞特別賞（国際貢献）〈緒方貞子氏〉」、2016 年度に「朝日賞特別賞（国際貢献）〈日本原水爆被害者団体協議会〉」、2019 年度に「朝日賞特別賞（写真界への貢献）〈田沼武能氏〉」が受賞し、正賞と副賞が贈られました。

朝日賞（文化賞部門） 1929～1974年度	1
朝日賞 1975年度～	6
朝日賞特別賞	12
索引	13

(敬称略。氏名先頭の「故」は受賞内定から発表までの間に亡くなった方。題目は受賞当時のものをそのまま掲載しています)

朝 日 賞 (文化賞部門)

1929～1974年度

- 1929年度 坪 内 逍 遥 沙翁全集翻訳完成および演劇博物館建設
 栖 原 豊 太 郎 特超高速活動写真撮影機の発明製作
 前 田 青 邨 第16回日本美術院展覧会出品「洞窟の頼朝」
- 1930年度 佐 佐 木 信 綱 「万葉秘林」の刊行完成
 山 本 忠 興 テレビジョン機の研究製作
 川 端 龍 子 第2回青竜社展覧会出品「魚紋」及び「草炎」
 内 田 実 安藤広重研究(著書「広重」)
- 1931年度 星 野 正 三 郎・山 本 三 六 郎 化学純絹糸の研究完成
- 1932年度 高 楠 順 次 郎 大正新修大蔵經の編修刊行完成
 満 谷 国 四 郎 第13回帝展出品画「緋毛氈」
 鈴 木 純 一 スンプ「鈴木式万能顕微印画法」の発明
 中 西 金 作 電気紋織機及び電気紋紙製造機の発明製作
- 1933年度 伊 原 敏 郎 「日本演劇史」「近世日本演劇史」「明治演劇史」三部作出版
 横 山 大 観 第20回日本美術院出品画「虫の音」
- 1934年度 田 中 耕 太 郎 「世界法の理論」の刊行完成
 高 松 亭 光学硝子の研究
 嘉 納 治 五 郎 運動関係功労者
- 1935年度 島 崎 藤 村 小説「夜明け前」完成
 抜 山 平 一 水中通信(水中超音波搬送式電話)の研究
 木 村 栄 緯度観測
- 1936年度 牧 野 富 太 郎 日本植物分類の研究
 岡 部 金 治 郎 極超短電波の研究
 徳 永 重 康 第1次満蒙学術調査研究団報告書完成
- 1937年度 田 中 正 平 純正調の研究
 飯 沼 正 明・塚 越 賢 爾 亜欧連絡飛行世界記録
- 1938年度 細 谷 省 吾 細菌毒素の精製とその応用
 藤 田 雄 蔵・高 橋 福 次 郎・関 根 近 吉
 周回飛行距離世界記録並びに1万キロ速度国際記録
- 1939年度 橋 本 関 雪 「軍馬二題」
 小 磯 良 平 「南京中華門戦闘図」と「兵馬」
 火 野 葦 平 戦争文学三部作の完成
 河 瀬 真・小 川 亨・横 田 俊 雄 石炭直接液化法の研究
 深 山 達 蔵・阿 部 良 之 助 石炭直接液化法の研究
 工 藤 宏 規 石炭直接液化法の研究
 塚 田 太 郎 電波伝播用機器の発明
 中 尾 純 利・吉 田 重 雄・下 川 一・佐 伯 弘・佐 藤 信 貞・八 百 川 長 作
 世界一周飛行の完成
- 1940年度 石 原 忍 色盲検査表の研究

	川 合 玉 堂	絵画「彩雨」
	佐 藤 清 蔵	銅造「和気清麻呂公像」
	滝 精 一	「国華」による東洋美術文化の宣揚
	柳 田 国 男	日本民俗学の建設と普及
	山 田 耕 作	交響楽運動と創作活動
1941年度	釘 宮 磐・有 馬 宏・加 納 俊 二	国鉄関門隧道の貫通工事
	久 保 田 豊・佐 藤 時 彦・玉 置 正 治	水豊堰堤の建設
	三 好 松 吉・風 岡 憲 一 郎	水豊発電所、水車並びに発電機、変圧器の設計、製作
	安 田 毅 彦	絵画「黄瀬川の陣」
1942年度	藤 田 嗣 治	作戦記録画「シンガポール最後の日」その他
	中 村 研 一	作戦記録画「コタ・バル」
	信 時 潔	「海ゆかば」の作曲
	岩 田 豊 雄	小説「海軍」
	日 本 映 画 社	戦記映画「マレー戦記」その他
	吉 田 栄 三・吉 田 文 五 郎	舞台生活60年
	仁 科 存	電気用金属材料の研究
	長 谷 川 秀 治	結核の化学療法に関する研究
	酒 井 由 夫・夢 沼 憲 二・楊 徳	慢性麻薬中毒並びに一般中毒性疾患の治療法に関する研究
1943年度	田 中 館 愛 橘	日本航空発達への貢献
	飯 盛 里 安	稀元素の研究
	成 瀬 政 男	歯車の研究
	川 田 順	愛国和歌の研究
	諸 橋 轍 次	大漢和辞典の編著刊行
	宮 本 三 郎	作戦記録画・海軍落下傘部隊「メナド」奇襲
1944年度	仁 科 芳 雄	元素の人工変換及び宇宙線の研究
	瀬 尾 貞 信	動脈注射療法の研究
	東 亜 考 古 学 会	(代表者 島村孝三郎) 蒙古の考古学的研究
	梅 若 万 三 郎	能楽による文化貢献
	小 俣 寿 雄・田 中 久 義・島 崎 清・坂 本 定 治・森 松 秀 雄・羽 広 石 雄	周回航続距離世界記録並びに速度国際記録
1945年度	中 止	
1946年度	朝 永 振 一 郎	中間子理論の発展と超多時間理論
	中 原 和 郎	ビタミンLの研究
1947年度	貝 塚 茂 樹	古代中国史の研究
	前 進 座	演劇文化運動への貢献
	増 山 元 三 郎	標本抽出による推計理論の発展と応用
1948年度	谷 崎 潤 一 郎	小説「細雪」
	日映教育映画部	科学教育映画への貢献
	坂 田 昌 一	二中間子の仮説
1949年度	原 田 慶 吉	楔形文字法の研究
	林 謙 三	東洋古代音楽の研究と正倉院古楽器の復元
	宮 地 政 司	経度変化の研究

- 1950年度 羽 原 又 吉 日本漁業経済史の研究
水 野 清 一・長 広 敏 雄 雲崗石窟の研究
今 井 功 高速気流の理論的研究
三 木 茂 メタセコイアの発見
- 1951年度 日本交響楽団（現NHK交響楽団） 25年間にわたる日本音楽界への貢献
野 副 鉄 男 ヒノキチオールの研究
吉 田 富 三 吉田肉腫の研究
- 1952年度 中国農村慣行調査委員会（代表者 仁井田陞） 中国農村慣行調査
岩 崎 憲 アゾトメトリーの研究
黒 津 敏 行 自律神経中枢の研究
- 1953年度 辻 善 之 助 日本仏教史の研究
田 村 実 造・小 林 行 雄 慶陵の研究
岡 潔 多変数函数論の研究
本 川 弘 一 色の感覚に関する研究
- 1954年度 鈴木大拙 日本仏教思想の海外紹介と「鈴木大拙選集」
知里真志保 「分類アイヌ語辞典」
岡 治 道・隈 部 英 雄
肺結核のエックス線診断学への貢献と「肺結核症のX線読影」の刊行
坪 井 忠 二 重力測定に基づく地下構造の研究
- 1955年度 吉 川 英 治 小説「新・平家物語」
柳 沢 謙・海 老 名 敏 明・大 林 容 二・戸 田 忠 雄・河 盛 勇 造
乾燥BCGワクチンの製造方法に関する研究
三 宅 静 雄・上 田 良 二 結晶による電子線回折の動力学的理論
- 1956年度 梅 原 龍 三 郎 第30回国画会展出品作「富士山図」
故池 田 亀 鑑 「源氏物語大成」(8巻)の完成
西岡 虎 之 助 「莊園史の研究」(上下巻3冊)の完成
須 藤 俊 男 火山物質起源の粘土の鉱物学的研究
木 原 卓 三 郎 脈管外通液路系に関する研究
- 1957年度 竹 内 理 三 「平安遺文」の完成
戸 田 宏 位相幾何学におけるホモトピー論の研究
金 栗 四 三 多年マラソン界に尽くした功績
- 1958年度 農業発達史調査会（代表者 東畑精一） 「日本農業発達史」の完成
松 村 武 雄 「日本神話の研究」の完成
梅 沢 浜 夫 抗生物質の研究、とくにカナマイシンの発見
安 松 京 三 天敵利用による害虫防除の研究
飛 田 忠 順 学生野球への功労
- 1959年度 柳 宗 悦 日本民芸館の創設と民芸運動に尽くした功績
市 川 寿 海 （本名 太田照造） 歌舞伎における新しい芸風の創設
高 橋 秀 俊・後 藤 英 一 パラメトロン電子計算機の完成
江 崎 玲 於 奈 エサキ・ダイオードの発明
岩 沢 健 吉 位相的方法を用いた整数論の研究
山 村 雄 一 結核菌の生化学的研究
- 1960年度 津 田 左 右 吉 歴史学研究における業績
八 杉 貞 利 多年にわたるロシア語教育の業績と「岩波ロシア語辞典」の完成

中 村 岳 陵 四天王寺金堂壁画の完成
 山 下 摩 起 四天王寺五重塔壁画の完成
 松 本 達 郎 日本並びに北太平洋地域の白亜紀アンモナイトの研究
 加 藤 敏 夫 物理数学の近代解析的研究
 奥 貴 一 男 チトクロームの研究

1961年度 長 谷 川 伸 「長谷川伸戯曲集」の完結と大衆文学並びに演劇に尽くした多年の功労
 前 川 国 男 東京文化会館ほか一連の作品に示された近代建築への貢献
 公 田 連 太 郎 漢学に対する深い学殖とすぐれた労作
 田 淵 寿 郎 名古屋市の都市計画を実施した功績
 勝 木 保 次 聴覚の神経機序の研究
 大阪大学磁気理論研究グループ（代表者 永宮健夫） 磁性体の理論的研究
 高 原 滋 夫 無カタラーゼ血液症の発見とその研究

1962年度 梅 原 末 治 考古学に対する深い学殖とすぐれた労作
 坂 本 繁 二 郎 「能面と謡本」にいたる一連のすぐれた画業
 洪 沢 敬 三 民族学、日本民俗学に対する貢献
 花 柳 章 太 郎 完成された演技と多年の演劇界への貢献
 松 島 与 三 連続群論の研究
 福 井 崇 時・宮 本 重 徳 放電箱の研究と開発
 黒部川第四発電所建設事務所（代表者 野瀬正儀） 黒部川第四発電所の建設
 岡 部 平 太 マラソンを中心に多年スポーツ界に尽くした功労

1963年度 国史大系編修会 （代表者 丸山二郎） 「新訂増補国史大系」60巻の完成
 善 竹 弥 五 郎 卓抜な演技力と能楽界への貢献
 美 土 路 昌 一 民間航空50年の発展に貢献した功績
 伊 藤 熹 朔 長年にわたる舞台装置家としての功績
 故 楠 本 正 継 「宋明時代儒学思想の研究」の完成
 古 在 由 秀 人工衛星の運動の研究
 大 野 克 郎 多端子回路網の構成理論に関する研究
 木 本 誠 二 心臓血管外科における業績
 榊 原 仟 心臓外科における業績
 暉 峻 義 等 日本における労働科学の建設と発展に尽くした業績

1964年度 石 田 茂 作 日本仏教考古学への貢献
 中 勘 助 「中勘助全集」の完結と多年にわたる文学上の業績
 大 佛 次 郎 「バリ燃ゆ」の完結と多年にわたる文学上の業績
 棟 方 志 功 日本の木版画に尽くした功績
 丹 下 健 三 国立競技場代々木競技場の建築
 株式会社東京シネマ（代表 岡田桑三） 科学映画製作における国際的業績
 国鉄新幹線を開発した技術グループ（代表者 島 秀雄） 国鉄新幹線の完成
 早 石 修 酸素添加酵素の発見並びに研究
 津 田 恭 介・平 田 義 正・仁 田 勇・横 尾 晃
 フグ毒の単離と化学構造の決定
 藤 野 恒 三 郎・滝 川 巖・福 見 秀 雄・坂 崎 利 一 腸炎ビブリオの発見と研究

1965年度 部落問題研究所 （代表者 奈良本辰也） 部落問題研究における業績
 仁 井 田 隆 中国法制史研究への貢献
 土 屋 喬 雄 「渋沢栄一伝記資料」の完成と日本近代経済史の資料集成への貢献
 矢 代 幸 雄 日本美術についての広範な啓発活動
 黒 沢 明 日本映画を国際的地位に高めた功績
 林 忠 四 郎 元素の起源と星の進化に関する研究
 中 沢 良 夫・佐 伯 達 夫
 アマチュア野球、ことに高等学校野球の育成、発展に多年尽くした功績

- 1966年度 沢 瀧 久 孝 「万葉集注釈」全20巻の完成
林 武 「裸婦」にいたる具象絵画の業績
滝 沢 修 「セールスマンの死」などの演技と新劇界への貢献
荻 野 久 作 オギノ学説による人口問題への貢献
江 上 不 二 夫 リボスクレアーゼT1に関する研究
熊本大学医学部水俣病研究班（代表者 忽那将愛）水俣病に関する研究
- 1967年度 福島正夫および「家」制度研究会 日本資本主義と「家」制度に関する研究
高 田 修 「仏教の起源」にいたる仏教美術史の研究
竹 本 常 松・中 西 香 爾 植物からの昆虫変態ホルモンの発見
広 中 平 祐 代数多様体の特異点の還元
- 1968年度 岩 生 成 一 外国史料の導入によって日本史研究に新分野を開いた功績
杉 村 春 子 「女の一生」の全国巡演をはじめとする多年にわたる演劇活動
江 橋 節 郎 カルシウムを中心とした筋収縮機構の研究
宮 地 伝 三 郎・今 西 錦 司を代表とする霊長類研究グループ
霊長類（とくにニホンザル）に関する研究
- 1969年度 藪 内 清 「中国の天文暦法」など中国の科学技術史研究の功績
佐 藤 幹 夫・小 松 彦 三 郎 超関数の理論と応用の功績
白 壁 彦 夫・市 川 平 三 郎・熊 倉 賢 二
胃のX線二重造影法の開発とそれによる早期胃ガン診断技術確立の功績
- 1970年度 大 塚 久 雄 経済史研究並びに社会科学方法論における功績
吉 川 幸 次 郎 中国文学研究の功績
長 倉 三 郎 分子化合物の電子論的研究
岡 崎 令 治 DNA複製の機構に関する研究
- 1971年度 渡 辺 一 夫 ルネサンスを中心とするフランス文学研究の業績
福 山 敏 男 日本建築史の研究
大 井 次 三 郎 「日本植物誌」の完成にいたる植物分類学への貢献
岡 田 善 雄 細胞融合現象の解析
- 1972年度 林 達 夫 西洋精神史及び現代文明に対する研究と評論活動の業績
日本中国文化交流協会（代表者 中島健蔵）
長年にわたる日中文化交流への貢献
水 谷 八 重 子 国立劇場「滝の白糸」の演技及び近年の演劇活動
市 川 房 枝 多年にわたる婦人の地位向上と有権者の政治教育に尽くした功績
朝 倉 昌・飯 野 徹 雄 細菌べん毛の形成に関する研究
林 秀 男 炎症の発生と抑制の機構に関する研究
- 1973年度 坪 田 讓 治 児童文学における長年の業績と童話雑誌「びわの実学校」10年の実績
倉 石 武 四 郎 中国語の研究と教育及び辞典の編纂
末 永 雅 雄 多年にわたる日本考古学界への貢献
石 坂 公 成・石 坂 照 子 免疫グロブリンEの発見
早 川 幸 男 高エネルギー天体现象の理論的及び観測的研究
- 1974年度 荒 畑 寒 村 多年にわたる社会運動の実践と著作活動の功績
山 本 安 英 700回を超える「夕鶴」公演を含む半世紀にわたる演劇活動
桑 原 武 夫 人文科学の共同研究を組織・指導し諸科学の発展に尽くした功績
山 川 民 夫 糖脂質の生化学的研究
大 沢 文 夫 生体運動の生物物理学的研究

朝 日 賞

1975 年度～

- 1975年度 大 岡 昇 平 「大岡昇平全集」の完結と戦後の文学への貢献
 新 藤 兼 人 独立プロによる映画製作の実績
 萩 原 雄 祐 天体力学の集大成
 菊 池 喜 充・和 賀 井 敏 夫 超音波診断法を創始した功績
 東北大学金属材料研究所附属材料試験炉利用施設研究グループ（代表者 矢島聖使）
 耐超高熱・超強度連続繊維の合成
- 1976年度 斉 藤 喜 彦 遷移金属錯体の構造に関する研究
 金 井 清 地震動特性の耐震設計への応用に関する研究
 名 取 礼 二 名取の筋繊維の創出と研究
 服 部 新 佐 日本の蘚苔類学および植物分類学への貢献
- 1977年度 中 野 重 治 小説、詩、評論など多年にわたる文学上の業績
 千 田 是 也 長年にわたる現代演劇への貢献
 静止衛星開発グループ（代表者 宇宙開発事業団理事長 松浦陽恵）
 技術試験衛星Ⅱ型の静止軌道への打ち上げ
 門 司 正 三・佐 伯 敏 郎 群落光合成理論の開拓と展開
 伊 藤 清 確率過程の研究
- 1978年度 金 関 文 夫 南島の人類学的研究の開拓と弥生時代人研究の業績
 朝 比 奈 隆 交響楽運動での貢献
 土 門 拳 「古寺巡礼」をはじめとする写真家としての多年の業績
 藤 田 哲 也 中枢神経系細胞発生の研究
- 1979年度 小 松 茂 美 「平家納経の研究」の完成を含む古筆研究体系化の業績
 近 藤 淳 希薄磁性合金の電気抵抗最小に関する理論の確立
 B型肝炎研究グループ（代表者 織田敏次）
 ウイルス肝炎B型の総合的研究
 三 木 安 正 精神薄弱児・者の学術研究と教育実践に尽くした功績
 田 畑 政 治 長年にわたる日本水泳界への貢献とオリンピック運動推進の功績
- 1980年度 野 上 弥 生子 「野上弥生子全集」にいたる現代文学への貢献
 財団法人・大原美術館 50年に及ぶ常設美術館活動
 「はくちょう」衛星観測チーム（代表者 小田 稔）
 「はくちょう」衛星によるX線天体の観測
 蟻 田 功 天然痘の根絶に尽くした功績
- 1981年度 石 川 淳 「石川淳選集」全17巻にいたる現代文学への貢献
 竹 内 外 史 解析学の基礎付けなど数学基礎論における諸研究
 葛 西 森 夫 先天性胆道閉塞症の治療法の確立
 利 根 川 進 免疫遺伝学への貢献＝抗体遺伝子の情報発現と制御の研究
 本 庶 佑 同＝免疫グロブリン遺伝子の研究
 多 田 富 雄 同＝免疫抑制T細胞と抑制因子の解明
- 1982年度 中 野 好 夫 著作と実践を通しての平和と民主化への貢献
 井 筒 俊 彦 イスラム思想・文化の研究と比較思想史の研究
 司 馬 遼 太郎 歴史小説の革新
 本 多 健 一・藤 嶋 昭 半導体を用いる水の光分解の研究
 沼 正 作・中 西 重 忠 多ホルモン前駆体の構造・遺伝子進化に関する研究

1983年度	佐 多 稲 子	長年の作家活動による現代文学への貢献
	亀 倉 雄 策	現代日本のデザインを世界的水準に高めた功績
	源 豊 宗	日本美術史研究における多大の業績
	渡 辺 正 毅	優れた関節鏡の開発と進歩への貢献
	垣 内 史 朗	カルモジュリンとカルモジュリン結合たんぱく質の発見
	花 房 秀 三 郎	RNA型腫瘍ウイルスの研究と細胞がん化機構の解析
1984年度	井 上 靖	長年にわたる文学上の業績と国際文化交流への貢献
	武 満 徹	世界的な音楽の創造
	斎 藤 義 重	多年の実験的制作活動による現代美術への貢献
	NHK「シルクロード」制作スタッフ	テレビ番組「シルクロード」の制作
	西 沢 潤 一	光通信と半導体の研究
	高 橋 理 明	水痘ワクチンの開発
1985年度	丸 山 真 男	日本政治思想史研究の向上と、その国際的評価ならびに政治学の長年の研究業績
	木 下 順 二	「夕鶴」「子午線の祀り」など、長年にわたる劇作活動
	小 沢 征 爾	世界の音楽界における活躍と業績
	宮 川 一 夫	映画カメラマンとしての長年にわたる日本映画への貢献
	林 徹 雄	半導体レーザーによる常温、連続発振
	西 塚 泰 美	ホルモンおよび神経伝達物質の作用機構に関する研究
1986年度	川 喜 多 かし こ	日本映画の海外普及と映画を通じての国際文化交流
	中 村 幸 彦	「中村幸彦著述集」に至る日本近世文学研究への多大な業績
	木 村 資 生	集団遺伝学の研究、とくに分子進化の中立説の提唱
	外 村 彰	電子線ホログラフィーの開発とアハラノフ・ボーム効果の実証
	高 月 清・三 好 勇 夫・日 沼 頼 夫・吉 田 光 昭	成人T細胞白血病の研究
	富 沢 純 一	遺伝子複製機構の研究、とくにRNAによる複製の制御の発見
1987年度	磯 崎 新	建築を通しての現代文化への貢献
	手 塚 治 虫	戦後漫画とアニメ界における創造的な業績
	森 英 恵	日本ファッション界のパイオニアとしての功績
	梅 棹 忠 夫	国立民族学博物館創設・運営による民族学の発展と普及への貢献
	柏 原 正 樹・河 合 隆 裕	代数解析学の研究
	神岡観測グループ（代表者 小柴昌俊）	超新星からのニュートリノ検出
	松 尾 寿 之	超微量ペプチド研究法の開発と新しい生理活性ペプチドの発見
1988年度	朝 倉 撰	優れた舞台空間の創造を通して現代演劇に貢献
	佐 藤 忠 良	日本人の体質感を表現した具象彫刻の実現に対して
	野 間 宏	「野間宏作品集」全14巻をはじめとする文学への貢献
	淀 川 長 治	長年の映画評論、紹介活動による日本映画界への貢献
	山 口 誓 子	現代俳句の革新と普及に貢献
	赤 池 弘 次	統計学の研究とくにAICの理論と応用
	岸 本 忠 三・谷 口 維 紹	分子免疫学への貢献
1989年度	三 岸 節 子	六十余年の剛直な画業と女性画壇の向上に努めた功績
	松 本 清 張 子	社会派推理小説の創始、現代史発掘など多年にわたる幅広い作家活動
	森 下 洋 子	世界にはばたくバレリーナとしての実力と実績
	林 屋 辰 三 郎	日本史および日本芸能文化史の研究における業績
	清 川 正 二	戦後の日本水泳復興と国際スポーツ発展に尽くした功績
	豊 島 久 真 男・山 本 雅	チロシンキナーゼ群がん遺伝子の研究
	川 崎 富 作	川崎病に関する研究

- 1990年度 吉 田 秀 和 わが国における音楽批評の確立
島 田 修 二 郎 東洋美術史研究における世界的貢献
箱 守 仙 一 郎 種々の糖脂質の構造と機能の研究
宮 脇 昭 「日本植生誌」の完成
佐 川 真 人 新永久磁石の発明
- 1991年度 三 宅 一 生 「衣」を通してファッションを芸術の域にまで高めた業績
安 岡 章 太 郎 1950年代より今日にいたる現代文学への貢献
加 藤 秋 邨 長年の俳文学における業績
坪 井 清 足 大規模遺跡の調査発掘法と考古学における学際および国際研究の推進
志 村 五 郎 整数論の研究
真 崎 知 生 エンドセリンの発見
- 1992年度 ※朝日新聞文化財団が事業を引き継ぐ
榎 文 彦 長年にわたる都市デザインと現代建築への貢献
若 杉 弘 わが国を代表する国際的指揮者としての活躍と業績
大 久 保 利 謙 日本近代史学の確立と基礎資料の蒐集・保存に貢献
陳 舜 臣 中国と日本の歴史を踏まえた文学作品を通して日本文化に大きな貢献
坂 上 昭 一 ハナバチ類の進化とその比較社会学的研究
野 依 良 治 不斉合成を目的とする分子触媒の研究
- 1993年度 加 藤 周 一 戦後続けてきた旺盛な評論と創作活動
西 田 龍 雄 西夏文字解読など言語学研究の業績
藤 沢 周 平 「藤沢周平全集」をはじめとする時代小説の完成
山 田 五 十 鈴 映画、演劇出演を通じての大衆文化への貢献
金 森 博 雄 地震発生の基礎物理の研究とその地震防災への応用
竹 市 雅 俊 細胞接着因子カドヘリンの発見と機能の解明
- 1994年度 堀 田 善 衛 人間と芸術を時空をこえて凝視した、長年の文学的業績
大 江 健 三 郎 核状況下、困難な主題を直視し、魂の救済まで描き出した真摯な創作活動
安 藤 忠 雄 人間と自然を問い直す一連の建築作品
鶴 見 俊 輔 現代思想、大衆文化論への貢献と在野思想の確立
小 林 誠・益 川 敏 英 素粒子反応におけるCP不変性の破れと第3世代クォークの予言
丸 山 工 作 コネクチンの発見を中心とする筋研究への貢献
- 1995年度 谷 川 俊 太 郎 現代詩を始め児童文学、言葉遊びなど幅広い分野での創作活動
故 丸 木 位 里・丸 木 俊 原爆、戦争、公害などをテーマに描き続けた長年の画業
桂 米 朝 上方落語の復活・継承・全国展開と後進の育成
大 林 太 良 日本民族文化の形成に関する卓越した研究
真 鍋 淑 郎 気候モデルの開発及び地球温暖化の研究
廣 川 信 隆 神経細胞骨格と細胞内の物質輸送に関する先駆的研究
- 1996年度 大 岡 信 長期にわたる「折々のうた」の連載と詩作、文芸批評における優れた業績
内 田 光 子 優れた解釈による国際的な演奏活動
山 田 洋 次 「男はつらいよ」48作など多年にわたる日本映画界への貢献
白 川 静 漢字学と中国古典研究の画期的業績
飯 島 澄 男 「カーボンナノチューブ」の発見
荒 木 不 二 洋 物理学と数学の境界領域の開拓
- 1997年度 ドナルド・キーン 長年の日本文学の研究と海外紹介の功績
河 合 隼 雄 心理学の画期的な研究と臨床実践並びに日本文化論における独創的業績
田 中 一 光 日本の美意識をベースにした国際的なデザイン活動
吉 田 玉 男 文楽人形を通して古典芸能を活性化し優れた舞台活動

	伊 賀 健 一	面発光半導体レーザーの研究
	長 田 重 一	細胞死アポトーシスの分子機構に関する研究
1998年度	ま ど み ち お	長年にわたる優れた子供の詩や童謡の詩作活動
	山 根 有 三	「山根有三著作集」完結にいたる日本美術史、とくに中世・近世絵画史における功績
	鈴 木 治	「走泥社」を長年運営し陶芸界に新しい領域を開いた功績
	スーパーカミオカンデ観測グループ（代表者 戸塚洋二）	ニュートリノに質量があることの発見
	柳 田 敏 雄	一分子計測技術の開発と生体分子運動の研究
1999年度	馬 場 あ き 子	長年にわたる優れた作歌、著述活動と、伝統文化継承にかかわる業績
	蜷 川 幸 雄	国際的な場を含む、長年にわたる独創的な演出活動の業績
	鶴 見 和 子	社会学と民俗学にかかわる、アカデミズムの枠を超えた研究業績と、「鶴見和子曼荼羅」の刊行
	三 輪 哲 二・神 保 道 夫	可積分系の代数解析の研究
	須 田 立 雄	ビタミンDと骨代謝に関する研究
	小 川 誠 二	機能的MRIの原理(BOLD法)の発見
2000年度	井 上 ひ さ し	知的かつ民衆的な現代史を総合する創作活動
	草 間 彌 生	世界の戦後美術に多大な影響を与えた前衛的創作活動
	茂 山 千 作	天衣無縫の優れた舞台で、狂言を庶民の芸能として普及させた功績
	赤 崎 勇・中 村 修 二	青色発光素子の研究と開発
	柳 田 充 弘	染色体を次世代に伝える仕組みの研究
2001年度	石 牟 礼 道 子	環境破壊による生命系の危機を訴えた創作活動
	宮 崎 駿	優れたアニメーション映画の製作
	樋 口 隆 康	先駆的な考古学研究と東西文化交流の解明
	秋 光 純	新しい高温金属超電導体の発見
	十 倉 好 紀	強相関電子物質の研究
2002年度	川 久 保 玲	常識を破るデザインで世界のモードを先導し続ける功績
	城 山 三 郎	経済小説の分野を確立、組織と人間を描いてきた業績
	加 藤 和 也	整数論の研究
	玉 尾 皓 平	革新的な有機金属化学反応の開発
2003年度	平 山 郁 夫	画家としての長年の業績と、文化遺産保存への国際的貢献
	丸 谷 才 一	「輝く日の宮」にいたる多年の文学的業績
	神 原 秀 記	高速DNA解読装置の開発
	宮 下 保 司	大脳の記憶メカニズムの解明
2004年度	中 村 稔	「私の昭和史」にいたる、詩作や文学館活動による長年の業績
	亀 吉 敏 子	米国を拠点にピアニスト、ビッグバンドリーダーとしてジャズ発展に寄与した功績
	板 倉 文 忠	携帯電話の基盤となる音声圧縮技術の開発
	田 中 啓 二	たんぱく質分解にかかわるプロテアソームの構造と機能の解明
2005年度	林 京 子	「林京子全集」(全8巻)にいたる文学活動の業績
	岩 城 宏 之	内外の活発な指揮活動で日本の現代音楽作品を幅広く紹介した功績
	小 沢 昭 一	俳優としての業績、及び日本の大道芸、放浪芸を記録・再評価した功績
	蔵 本 由 紀	同期現象などをめぐる非線形科学の先駆的研究
	審 良 静 男	自然免疫における病原体認識の研究
2006年度	田 辺 聖 子	「田辺聖子全集」(全24巻・別巻1)完結にいたる文学活動の業績
	村 上 春 樹	世界各国で翻訳され、若い読者を中心に同時代の共感と呼んだ文学的功績
	野 村 万 作	長年にわたる狂言の優れた上演と幅広い舞台芸術への貢献

	川 人 光 男	小脳内部モデル理論の提案・検証と人型ロボットによる脳機能の解明
	近 藤 孝 男	生物時計の分子機構に関する研究
	下 村 脩	緑色蛍光たんぱく質GFPの発見と生命科学への貢献
2007年度	石 井 桃 子	「クマのプーさん」などの翻訳をはじめとする日本の児童文学への持続的な貢献
	竹 本 住 大 夫	人形浄瑠璃文楽への多大な貢献と、現役最高峰の大夫としての芸の確立
	宮 崎 照 宣・湯 浅 新 治	トンネル磁気抵抗効果 (TMR) の発展と応用に関する研究
	福 山 幸 夫・戸 田 達 史・遠 藤 玉 夫	福山型筋ジストロフィーの発見とその類縁疾患における病態の解明
	山 中 伸 弥	万能細胞作製に関する新手法の開発と実証
2008年度	水 木 し げ る	妖怪や戦争を題材とした幅広い創作による漫画文化への貢献
	澤 地 久 枝	戦争へと至った昭和史の実相に迫るノンフィクションを著した業績
	別 役 実	日本に不条理劇を定着させた長年にわたる優れた劇作活動
	大 隅 良 典	細胞内分解系オートファジーの分子機構の解明
2009年度	伊 東 豊 雄	現代建築における空間表現の可能性を広げた業績
	野 田 秀 樹	新しい現代演劇の開拓と海外交流の推進
	深 谷 賢 治	シンプレクティック幾何学の研究
	豊 島 近	カルシウムポンプ作動機構の解明
	諏 訪 元	ラミダス猿人など初期人類の進化に関する研究
2010年度	池 澤 夏 樹	世界的視野に基づく創作・評論活動と文学全集の編集
	原 田 正 純	水俣病研究を通じた学際的な「水俣学」の提唱と深化
	探査機「はやぶさ」プロジェクトチーム	
	(チーム代表・川口淳一郎 宇宙航空研究開発機構教授、	
	産業界代表・萩野慎二 NEC 宇宙システム事業部シニアマネージャー、	
	学術界代表・土屋和雄 京都大学名誉教授)	
		産官学の協力による世界初の小惑星探査往復飛行
	細 野 秀 雄	透明酸化半導体・金属の創出
2011年度	横 尾 忠 則	常に時代と共振する斬新なグラフィックデザイン・絵画の制作
	富 田 勲	世界を舞台にした作曲家・音響クリエイターとしての活動
	上 野 千 鶴 子	女性学・フェミニズムとケア問題の研究と実践
	香 取 秀 俊	光格子時計に関する研究
	坂 口 志 文	制御性T細胞の発見を通じた免疫寛容の解明
2012年度	唐 十 郎	幻想的な戯曲の創作とテント公演での独創的な舞台制作
	松 波 弘 之	パワー半導体シリコンカーバイドの先駆的研究
	神 谷 信 夫・沈 建 仁	光合成における水分解・酸素発生の分子機構の解明
2013年度	宝 塚 歌 劇 団	宝塚歌劇100年の日本の舞台芸術への貢献
	仲 代 達 矢	長年の俳優活動と後進育成による演劇・映画界への貢献
	小 阪 憲 司	レビー小体型認知症の発見
	森 和 俊	小胞体ストレス応答の解明
2014年度	坂 茂	斬新な発想に基づく設計活動と建築による被災地支援
	山 田 太 一	長年にわたって日本のテレビドラマ作りを牽引
	大 村 智	抗寄生虫薬の発見・開発と国際保健への貢献
	満 屋 裕 明	抗エイズ薬の発見と治療法確立への貢献
2015年度	大 野 和 士	指揮者としての国内外における精力的な活動
	金 子 兜 太	戦後一貫して現代俳句を牽引
	村 井 眞 二	不活性結合の活性化に基づく革新的合成手法の開拓

山 本 正 幸・渡 邊 嘉 典 減数分裂にかかわる分子機構の解明

2016年度	辻 惟 雄	「奇想の画家」の再評価など日本美術史への多大な貢献
	萩 尾 望 都	漫画表現の革新と長年にわたる創作活動
	中 島 啓	幾何学的表現論と数理物理学への展開
	113番元素研究グループ（代表者 森田浩介） 113番元素ニホニウム(Nh)の発見と命名	
2017年度	北 川 フ ラ ム	里山や島々を舞台にした芸術祭での地域・文化の活性化
	瀬 戸 内 寂 聴	女性の地位を向上させた作家活動や平和への社会活動
	甲 元 眞 人	トポロジーの物性物理学への導入
	柳 沢 正 史	オレキシンの発見と睡眠・覚醒に関する研究
2018年度	木 庭 顕	政治・デモクラシー・法の歴史的基盤の探究
	是 枝 裕 和	カンヌ映画祭最高賞受賞など、映画表現における達成
	岡 本 龍 明	先駆的な暗号の設計と安全性理論の開拓
	平 野 達 也	コンデンシンの発見と染色体構築に関する研究
2019年度	多 和 田 葉 子	日本語とドイツ語を自在に行き来する越境的な創作活動
	柳 家 小 三 治	江戸落語の継承と自在な話芸
	斎 藤 通 紀	生殖細胞の発生機構の解明と試験管内での作製
	東 山 哲 也	植物の受精の仕組みを解明
2020年度	細 野 晴 臣	ポピュラー音楽に大きな革新をもたらした音楽活動
	森 山 大 道	写真の本質を問い続けた60年の実践
	蔡 兆 申・中 村 泰 信	量子情報技術の発展に資する超電導量子ビットの創出
	望 月 拓 郎	調和バンドルとツイスターD加群の研究
2021年度	俵 万 智	現代短歌の魅力を伝え、すそ野を広げた創作活動
	松 岡 和 子	シェークスピア全戯曲の翻訳
	影 山 龍 一 郎	発生過程を制御する生物時計遺伝子の解明
	鳥 居 啓 子	植物の成長制御と気孔の発生メカニズムの解明
2022年度	石 内 都	記憶と時間に向きあい続ける写真表現の達成
	柄 谷 行 人	鋭敏な文芸批評と独自の思想体系の国際的広がり
	藤 田 誠	自己組織化によるナノ空間物質の創出とその応用
	間 野 博 行	肺がんの融合遺伝子の発見とがんゲノム医療の先導
2023年度	戒 能 民 江	女性の人権を守る法整備への長年にわたる貢献
	島 薊 進	新宗教、国家と宗教、グリーフケア研究への貢献
	倉 谷 滋	脊椎動物の体の形づくりと進化プロセスの研究
	宮 坂 力	ペロブスカイト太陽電池の開発
2024年度	今 井 信 子	ビオラ奏者としての世界的な活躍と、教育への貢献
	真 田 広 之	米ハリウッドで切り拓いた国際的な俳優活動の実践
	緒 方 芳 子	量子統計力学から生じる数学的問題の研究
	谷 口 尚・渡 邊 賢 司	窒化ホウ素結晶の高品位合成と量子材料研究への貢献

朝 日 賞 特 別 賞

1995年度 青 木 半 治 朝日賞スポーツ特別賞
1999年度 緒 方 貞 子 朝日賞特別賞（国際貢献）
2016年度 日本原水爆被害者団体協議会 朝日賞特別賞（国際貢献）
2019年度 田 沼 武 能 朝日賞特別賞（写真界への貢献）

索引

(数字は受賞年度)

〔あ〕

〈朝日賞スポーツ特別賞〉 1995
青木 半治 1988
赤池 弘次 2000
秋崎 勇 2001
穂吉 敏子 2004
審良 静男 2005
朝倉 昌 1972
朝倉 隆 1988
朝比奈 隆 1978
阿部 良之助 1939
荒木 不二洋 1996
荒畑 寒村 1974
蟻田 功 1980
有馬 宏 1941
安藤 忠雄 1994

〔い〕

飯島 澄男 1996
飯沼 正明 1937
飯野 徹雄 1972
飯盛 里安 1943
「家」制度研究会 1967
伊賀 健一 1997
池澤 夏樹 2010
池田 亀鑑子 1956
石井 桃 2007
石内 都 2022
石川 淳 1981
石坂 公成 1973
石坂 照子 1973
石田 茂作 1964
石原 忍 1940
石牟礼 道子 2001
磯崎 新 1987
板倉 文忠 2004
市川 寿海 1959
市川 房枝 1972
市川 平三郎 1969
井筒 俊彦 1982
井藤 熹 1963
伊藤 清 1977
伊東 豊雄 2009
井上 ひさし 2000
井上 靖 1984
伊原 敏郎 1933
今井 功 1950
今井 信子 2024
今西 錦司 1968
岩生 成一 1968

岩城 宏之 2005
岩崎 憲 1952
岩沢 健吉 1959
岩田 豊雄 1942

〔う〕

上田 良二 1955
上野 千鶴子 2011
内田 光子 1996
内田 実 1930
梅棹 忠夫 1987
梅沢 浜夫 1958
梅原 末治 1962
梅原 龍三郎 1956
梅若 万三郎 1944

〔え〕

江上 不二夫 1966
江崎 玲於奈 1959
NHK「シルクロード」制作スタッフ 1984
江橋 節郎 1968
海老名 敏明 1955
遠藤 玉夫 2007

〔お〕

大井 次三郎 1971
大江 健三郎 1994
大岡 昇平 1975
大岡 信 1996
大久保 利謙 1992
大隅 良典 2008
大阪大学磁気理論研究グループ 1961
大沢 文夫 1974
大塚 久雄 1970
大野 和士 2015
大野 克郎 1963
大林 太良 1995
大林 容二 1955
大原 美術館 1980
大村 智 2014
岡 潔 1953
岡 治道 1954
岡崎 令治 1970
岡田 桑三 1964
岡田 善雄 1971
〈朝日賞特別賞〉 1999
緒方 貞子 2024
緒方 芳子 2024
岡部 金治郎 1936

岡部 平太 1962
岡本 龍明 2018
小川 誠二 1999
小川 亨 1939
荻野 久作 1966
奥 貴一男 1960
大佛 次郎 1964
小沢 昭一 2005
小沢 征爾 1985
織田 敏次 1979
小田 稔孝 1980
沢 瀧久 1966

〔か〕

貝塚 茂樹 1947
戒能 民江 2023
垣内 史朗 1983
影山 龍一郎 2021
葛西 森夫 1981
風岡 憲一郎 1941
柏原 正樹 1987
勝木 保次 1961
桂 米朝 1995
加藤 和也 2002
加藤 周一 1993
加藤 秋邨 1991
加藤 敏夫 1960
香取 秀俊 2011
加納 俊二 1941
嘉納 治五郎 1934
金井 清 1976
金栗 四三 1957
金関 文夫 1978
金森 博雄 1993
金子 兜太 2015
神岡観測グループ 1987
神谷 信夫 2012
亀倉 雄策 1983
唐 十郎 2012
柄谷 行人 2022
川合 玉堂 1940
河合 隆裕 1987
河合 隼雄 1997
川喜多 かしこ 1986
川久保 玲 2002
川口 淳一郎 2010
川崎 富作 1989
河瀬 真 1939
川田 順 1943
川人 光男 2006
川端 龍子 1930

河 盛 勇 造 1955
神 原 秀 記 2003

〔き〕

菊 池 喜 充 1975
岸 本 忠 三 1988
北 川 フラム 2017
木 下 順 二 1985
木 原 卓三郎 1956
木 村 栄 1935
木 村 資 生 1986
木 本 誠 二 1963
清 川 正 二 1989
ドナルド・キーン 1997

〔く〕

釘 宮 磐 1941
草 間 彌 生 2000
楠 本 正 継 1963
工 藤 宏 規 1939
久保田 豊 1941
熊 倉 賢 二 1969
隈 部 英 雄 1954
熊本大学水俣病
研究班 1966
倉 石 武四郎 1973
倉 谷 滋 2023
蔵 本 由 紀 2005
黒 沢 明 1965
黒 津 敏 行 1952
黒部川第四発電所
建設事務所 1962
桑 原 武 夫 1974
忽 那 将 愛 1966

〔こ〕

小 磯 良 平 1939
公 田 連太郎 1961
甲 元 眞 人 2017
国史大系編修会 1963
国鉄新幹線開発
技術グループ 1964
古 在 由 秀 1963
小 阪 憲 司 2013
小 柴 昌 俊 1987
後 藤 英 一 1959
木 庭 顕 雄 2018
小 林 行 雄 1953
小 林 誠 誠 1994
小 俣 寿 雄 1944
小 松 茂 美 1979
小 松 彦三郎 1969
是 枝 裕 和 2018
近 藤 淳 1979

近 藤 孝 男 2006

〔さ〕

斎 藤 通 紀 2019
斎 藤 義 重 1984
斉 藤 喜 彦 1976
佐 伯 達 夫 1965
佐 伯 敏 郎 1977
佐 伯 弘 1939
酒 井 由 夫 1942
坂 上 昭 一 1992
榊 原 一 仟 1963
坂 口 志 文 2011
坂 崎 利 一 1964
坂 田 昌 一 1948
坂 本 定 治 1944
坂 本 繁 二 郎 1962
佐 川 真 人 1990
佐 佐 木 信 綱 1930
佐 多 稲 子 1983
佐 藤 清 蔵 1940
佐 藤 忠 良 1988
佐 藤 時 彦 1941
佐 藤 信 貞 1939
佐 藤 幹 夫 1969
真 田 広 之 2024
澤 地 久 枝 2008

〔し〕

茂 山 千 作 2000
司 馬 遼 太郎 1982
洪 沢 敬 三 1962
島 秀 雄 1964
島 崎 清 1944
島 崎 藤 村 1935
島 蘭 進 2023
島 田 修 二 郎 1990
島 村 孝 三 郎 1944
志 村 五 郎 1991
下 川 一 1939
下 村 脩 2006
白 壁 彦 夫 1969
白 川 静 1996
城 山 三 郎 2002
新 藤 兼 人 1975
神 保 道 夫 1999
沈 建 仁 2012

〔す〕

末 永 雅 雄 1973
杉 村 春 子 1968
鈴 木 治 一 1998
鈴 木 純 一 1932
鈴 木 大 拙 1954

須 田 立 雄 1999
須 藤 俊 男 1956
栖 原 豊 太郎 1929
諏 訪 元 2009
スーパーカミオカンデ
観測グループ 1998

〔せ〕

静 止 衛星 開発 1977
グ ルー プ
瀬 尾 貞 信 1944
関 根 近 吉 1938
瀬 戸 内 寂 聴 2017
前 進 座 1947
千 田 是 也 1977
善 竹 弥 五 郎 1963

〔た〕

高 楠 順 次 郎 1932
高 田 修 1967
高 月 清 1986
高 橋 秀 俊 1959
高 橋 福 次 郎 1938
高 橋 理 明 夫 1984
高 原 滋 夫 1961
高 松 亭 1934
宝 塚 歌 劇 団 2013
滝 精 一 1940
滝 川 巖 1964
滝 沢 修 1966
竹 市 雅 俊 1993
竹 内 外 史 1981
竹 内 理 三 1957
武 満 徹 1984
竹 本 住 大 夫 2007
竹 本 常 松 1967
多 田 富 雄 1981
蓼 沼 憲 二 1942
田 中 一 光 1997
田 中 啓 二 2004
田 中 耕 太 郎 1934
田 中 正 平 1937
田 中 久 義 1944
田 中 館 愛 橘 1943
田 辺 聖 子 2006
谷 川 俊 太 郎 1995
谷 口 尚 2024
谷 口 維 紹 1988
谷 崎 潤 一 郎 1948
＜朝日賞特別賞＞ 2019
田 沼 武 能 治 1979
田 畑 政 寿 郎 1961
田 淵 皓 平 2002
玉 尾 正 治 1941

田村実造 1953
 多和田葉子 2019
 俵万智 2021
 丹下健三 1964
 探査機「はやぶさ」プロジェクトチーム 2010

〔ち〕

中国農村慣行調査委員会 1952
 知里真志保 1954
 陳舜臣 1992

〔つ〕

蔡（ツァイ）兆申 2020
 塚越賢爾 1937
 塚田太郎 1939
 辻善之助 1953
 辻惟雄 2016
 津田恭介 1964
 津田左右吉 1960
 土屋和雄 2010
 土屋喬雄 1965
 坪井清足 1991
 坪井忠二 1954
 坪内逍遙 1929
 坪田譲治 1973
 鶴見和子 1999
 鶴見俊輔 1994

〔て〕

手塚治虫 1987
 暉峻義等 1963

〔と〕

東亜考古学会 1944
 東京シネマ 1964
 東畑精一 1958
 東北大学試験炉研究グループ 1975
 徳永重康 1936
 十倉好紀 2001
 戸田忠雄 1955
 戸田達史 2007
 戸田宏 1957
 戸塚洋二 1998
 利根川進 1981
 外村彰 1986
 飛田忠順 1958
 富沢純一 1986
 富田勲 2011
 朝永振一郎 1946
 土門拳 1978
 豊島久真男 1989

豊島近子 2009
 鳥居啓子 2021

〔な〕

中勘助 1964
 中尾純利 1939
 長倉三郎 1970
 中沢良夫 1965
 中島健蔵 1972
 中島啓 2016
 長田重一 1997
 仲代達矢 2013
 中西金作 1932
 中西香爾 1967
 中西重忠 1982
 中野重治 1977
 中野好夫 1982
 中原和郎 1946
 長広敏雄 1950
 永宮健夫 1961
 中村岳陵 1960
 中村研一 1942
 中村修二 2000
 中村稔 2004
 中村泰信 2020
 中村幸彦 1986
 名取礼二 1976
 奈良本辰也 1965
 成瀬政男 1943

〔に〕

仁井田陞 1952
 西岡虎之助 1956
 西沢潤一 1984
 西田龍雄 1993
 西塚泰美 1985
 仁科存 1942
 仁科芳雄 1944
 仁田勇 1964
 日映教育映画部 1948
 蜷川幸雄 1999
 日本映画社 1942
 <朝日賞特別賞> 2016
 日本原水爆被害者団体協議会
 日本交響楽団 1951
 日本中国文化交流協会 1972

〔ぬ〕

抜山平一 1935
 沼正作 1982

〔の〕

農業発達史調査会 1958
 野上弥生子 1980
 野瀬正儀 1962
 野瀬鉄男 1951
 野田秀樹 2009
 信時潔 1942
 野間宏 1988
 野村万作 2006
 野依良治 1992

〔は〕

萩尾望都 2016
 萩野慎二 2010
 萩原雄祐 1975
 はくちょう衛星観測チーム 1980
 箱守仙一郎 1990
 橋本関雪 1939
 長谷川伸 1961
 長谷川秀治 1942
 服部新佐 1976
 花房秀三郎 1983
 花柳章太郎 1962
 馬場あき子 1999
 羽原又吉 1950
 羽広石雄 1944
 早石修 1964
 早川幸男 1973
 林徹雄 1985
 林京子 2005
 林謙三 1949
 林武 1966
 林達夫 1972
 林忠四郎 1965
 林秀男 1972
 林屋辰三郎 1989
 原田慶吉 1949
 原田正純 2010
 坂茂 2014

〔ひ〕

B型肝炎研究グループ 1979
 東山哲也 2019
 樋口隆康 2001
 日沼頼夫 1986
 火野葦平 1939
 113番元素研究グループ 2016
 平田義正 1964
 平野達也 2018
 平山郁夫 2003
 廣川信隆 1995

広 中 平 祐 1967
 [ふ]
 深 谷 賢 治 2009
 山 達 蔵 1939
 福 井 崇 時 1962
 福 島 正 夫 1967
 福 見 秀 雄 1964
 福 山 敏 男 1971
 福 山 幸 夫 2007
 藤 沢 周 平 1993
 藤 嶋 昭 1982
 藤 田 哲 也 1978
 藤 田 嗣 治 1942
 藤 田 誠 2022
 藤 田 雄 蔵 1938
 藤 野 恒三郎 1964
 部落問題研究所 1965
 [へ]
 別 役 実 2008
 [ほ]
 星 野 正三郎 1931
 細 野 晴 臣 2020
 細 野 秀 雄 2010
 細 谷 省 吾 1938
 堀 田 善 衛 1994
 本 庶 佑 1981
 本 多 健 一 1982
 [ま]
 前 川 国 男 1961
 前 田 青 邨 1929
 榎 文 彦 1992
 牧 野 富太郎 1936
 真 崎 知 生 1991
 益 川 敏 英 1994
 増 山 元三郎 1947
 松 浦 陽 恵 1977
 松 尾 寿 之 1987
 松 岡 和 子 2021
 松 島 与 三 1962
 松 波 弘 之 2012
 松 村 武 雄 1958
 松 本 清 張 1989
 松 本 達 郎 1960
 ま ど みちお 1998
 真 鍋 淑 郎 1995
 間 野 博 行 2022
 丸 木 位 里 1995
 丸 木 俊 1995
 丸 谷 才 一 2003
 丸 山 工 作 1994

丸 山 二 郎 1963
 丸 山 真 男 1985
 [み]
 三 木 茂 1950
 三 木 安 正 1979
 三 岸 節 子 1989
 水 木 しげる 2008
 水 谷 八重子 1972
 水 野 清 一 1950
 満 谷 国四郎 1932
 満 屋 裕 明 2014
 美土路 昌 一 1963
 源 豊 宗 1983
 三 宅 一 生 1991
 三 宅 静 雄 1955
 宮 川 一 夫 1985
 宮 坂 照 宣 2023
 宮 崎 崎 照 駿 2007
 宮 崎 保 司 2003
 宮 地 伝三郎 1968
 宮 地 政 司 1949
 宮 本 三 郎 1943
 宮 本 重 徳 1962
 宮 脇 昭 1990
 三 好 勇 夫 1986
 三 好 松 吉 1941
 三 輪 哲 二 1999
 [む]
 棟 方 志 功 1964
 村 井 眞 二 2015
 村 上 春 樹 2006
 [も]
 望 月 拓 郎 2020
 本 川 弘 一 1953
 森 和 俊 2013
 森 英 恵 1987
 森 下 洋 子 1989
 森 田 浩 介 2016
 森 松 秀 雄 1944
 森 山 大 道 2020
 諸 橋 徹 次 1943
 門 司 正 三 1977
 [や]
 八百川 長 作 1939
 矢 島 聖 使 1975
 矢 代 幸 雄 1965
 安 岡 章太郎 1991
 八 杉 貞 利 1960
 安 田 靱 彦 1941

安 松 京 三 1958
 藪 内 清 悦 1969
 柳 宗 悦 1959
 柳 沢 謙 史 1955
 柳 沢 正 史 2017
 柳 田 国 男 1940
 柳 田 敏 雄 1998
 柳 田 充 弘 2000
 柳 家 小三治 2019
 山 川 民 夫 1974
 山 口 誓 子 1988
 山 下 摩 起 1960
 山 田 五十鈴 1993
 山 田 耕 柞 1940
 山 田 太 一 2014
 山 田 洋 次 1996
 山 中 伸 弥 2007
 山 根 有 三 1998
 山 村 雄 一 1959
 山 本 三六郎 1931
 山 本 忠 興 1930
 山 本 雅 1989
 山 本 正 幸 2015
 山 本 安 英 1974
 [ゆ]
 湯 浅 新 治 2007
 [よ]
 楊 徳 1942
 横 尾 晃 1964
 横 尾 忠 則 2011
 横 田 俊 雄 1939
 横 山 大 観 1933
 吉 川 英 治 1955
 吉 川 幸次郎 1970
 吉 田 栄 三 1942
 吉 田 重 雄 1939
 吉 田 玉 男 1997
 吉 田 富 三 1951
 吉 田 秀 和 1990
 吉 田 文五郎 1942
 吉 田 光 昭 1986
 淀 川 長 治 1988
 [れ]
 霊長類研究グループ 1968
 [わ]
 和賀井 敏 夫 1975
 若 杉 弘 1992
 渡 辺 一 夫 1971
 渡 邊 賢 司 2024
 渡 辺 正 毅 1983

2025年

朝日賞事務局

公益財団法人 朝日新聞文化財団

〒100-0005 東京都千代田区丸の内 2-1-1
明治生命館 6 階

TEL 03-6269-9441

FAX 03-6269-9442

朝日新聞社 ブランド企画部

〒104-8011 東京都中央区築地 5-3-2

TEL 03-3545-0131（大代表）

FAX 03-3541-8999